

クローバーだより

2023年7月7日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
水野 倫子



着脱【気温に応じて衣類を調節する】

健康的な生活を送るためには、季節、気温の変化に応じてこまめに衣類の調節をすることが必要です。暑くて汗をかいたときは、風通しの良いシャツに着替えたり、空気が冷たく感じられるときは、上着を羽織ったりします。大人は「暑いね」「寒いね」などと気持ちの伴った言葉とともに着脱を手伝います。発達に必要な体験が得られるような援助を行い、生活の習慣の一つとして身に付けられるように援助しましょう。

♡3歳頃の発達ポイント♡

*簡単な着脱を行なう



両手の協応動作が巧みになり、時間はかかりますが、簡単な衣服の着脱なら自分で出来るようになります。小さい襟ぐりの服や体にピタッとしたズボンなどを自分で着脱するのは難しく、手伝いを求められますので、サイズのあったものを着させてあげてください。

*個人差に合わせた援助

この年齢の特徴と発達の個人差に応じた援助が必要です。着脱の自立に向けて「じぶんで」の気持ちを大事にし、子どもの出来ないところだけをさりげなく手伝い、時間や場の確保などの環境を整えて自信や意欲につなげていきます。



*判断しやすい目印を付ける

服の後ろ前、裏表、靴の左右などが判断しにくいものもあります。模様やマークがあると分かりやすいです。また、ウエストはゴムのもので自分で着脱しやすいと思います。

*甘えたい気持ちを大事に

いつもは自分でできるのに、手伝ってもらいたがる時があります。「甘えたい」気持ちを理解し、子どもが意思表示しているときは、十分なスキンシップを図りながら優しく「一緒に着替えようか」と応じるようにするのがいいと思います。



日本の伝統行事を伝えよう

近年、家庭や地域で日本の伝統行事にふれる機会が少なくなっています。そんな今だからこそ、子どもに伝統行事を伝えることは園の重要な役割です。伝統行事を知って、子どもに伝承していきましょう。

執筆/片岡章彦(大阪成蹊大学 准教授)

今月は…

七夕

中国のお話です。昔々、天帝(天の神様)には、神様の着物の布を織る仕事をしていた織姫という娘がいました。ある日、天帝は織姫と牛飼いの彦星を会わせました。二人はすぐに仲良くなって結婚しました。しかし、その後遊びに夢になって仕事をしなくなり、神様の着物はボロボロに、牛はやせ細ってしまいました。怒った天帝は、二人を天の川の兩岸に引き離してしまいました。織姫は悲しくて毎日泣きました。それを見た天帝はかわい

そう思い、一年に一回だけ、7月7日に二人が会うことを許しました。

このお話をもとに、7月7日に七夕の行事をし、二人のように願いがかなうようにと、短冊に願い事を書いて笹に飾るようになりました。



なぜ願い事を笹に飾るの？

笹は冬でも青々とし、天に向かって真っすぐに伸びます。生命力の強い笹が、病気や悪いこと(邪気)を追い払い、願い事を天まで届けてくれることを祈って、短冊を飾るようになったといわれています。



ごしき 五色の短冊とは？

短冊に使われる5色は、中国の「五行思想」に由来し、5つの要素と季節を表しています。この世の全ての物は5つの要素が循環しながら互いに影響し合うことでつくり、人間の生活に不可欠なものといわれています。



豆知識

織姫と彦星の見つけ方

織姫(こと座のベガ)と彦星(わし座のアルタイル)は、どちらも夏の大きな三角形の頂点を担う、見つけやすい1等星です。夏には東の空に見えます。ぜひ探してみてください。



子どもたちと遊ぼう!

笹を使った遊び

七夕にちなみ、笹を使って遊んでみましょう。ここでは、笹舟の作り方を紹介します。

〈笹舟の作り方〉



- 1 笹の両端を内側に折る。
- 2 三等分に切り込みを入れる。
- 3 中央を残して持ち上げ、どちらか一方に差し込む。

《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな?と不安に思われた時、こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしやいませんか? 保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373 お電話お待ちしております